

## 第48回長野県同和教育研究大会 ご案内（第二次案内）

人権同和教育の推進のため、識者の講演を聴くとともに、県内の実践に学ぶ県同和教育研究大会ですが、昨年度同様、終日開催とし、お二人の講師をお招きして、今後の人権同和教育のこと、大切な人権課題について、じっくり学び合う機会としたいと考えております。また、人権問題を自分事として考える取組について、県内市町村及び県内高等学校の実践から考え合います。多くの皆様にご参加いただきますようご案内いたします。

長野県同和教育推進協議会会長(須坂市立日野小学校長) 中村 新治

1 テーマ 差別の現実から深く学び、暮らしを高め、豊かな未来を保障する人権教育を確立しよう

2 期日 2025年9月18日(木)

3 日程

9:30 10:00 10:15 12:10 13:10 14:45 14:55 15:15 16:00 16:10

受付	開 会 行 事	講演Ⅰ 河原千春さん 【朗読】蔵田玲子さん 実践報告1 「もろさわようこさんに学ぶ高校生」 長野女子高等学校 望月誠さん	昼 食	講演Ⅱ 土田光子さん	休 憩	実践報告2 「学校との連携 による啓発」 佐久市 石黒健さん	グループワーク 「私の実践課題」	閉 会 行 事
----	------------------	---	--------	---------------	--------	--	---------------------	------------------

4 会場 長野県総合教育センター (〒399-0711 塩尻市片丘南唐沢 6342-4 TEL(0263)53-8800)  
(最寄りの交通機関) JR(中央線) 塩尻駅より約10km 広丘駅より約6km 村井駅より約7km  
高速道路(長野自動車道) 塩尻ICより約6km 塩尻北ICより約7km

5 主催 長野県同和教育推進協議会

6 長野県同和教育推進協議会構成団体  
信濃教育会 長野県小学校長会 長野県中学校長会 長野県高等学校長会  
長野県特別支援学校校長会 長野県専修学校各種学校連合会 長野県私立短期大学協会  
長野県保育連盟 長野県私立幼稚園・認定こども園協会 長野県教職員組合  
長野県校長教頭組合 長野県短期大学・長野県立大学教職員組合 長野県PTA連合会  
長野県高等学校PTA連合会 部落解放同盟長野県連合会 長野県図書館協会  
長野県市町村教育委員会連絡協議会 長野県公民館運営協議会 長野県社会福祉協議会  
長野県仏教会 「同和問題」にとりくむ長野県宗教教団連絡会議

7 共催 長野県教育委員会

8 後援 長野県

9 参加資料代 2,000円

10 講演Ⅰ 河原 千春(かわはら ちはる)さん 信濃毎日新聞社編集局文化部記者  
演題「自分を新しく」～長野県の女性史研究家もろさわようこさんに学ぶ～  
【朗読】長野朝日放送 元ニュースキャスター 蔵田 玲子(くらた れいこ)さん



<蔵田玲子さん>

11 実践報告1 長野女子高等学校教頭 望月 誠 さん

12 実践報告2 佐久市 市民健康部 人権同和課 人権教育男女共生係 石黒 健 さん

13 講演Ⅱ 土田 光子(つちだ みつこ)さん 大阪多様性教育ネットワーク代表  
演題「自分を解放するための人権・同和教育」～部落問題学習を核として～

14 参加規模・参加申し込み

- (1) 参加規模 200～250名程度。上限に達したところで締め切ります。
- (2) 必ず事前の申し込みをお願いします。

【次頁へ続きます】

(3) 参加希望者は、長野県同和教育推進協議会(下記アドレス)へメールにて申し込みをお願いします。

[dosuikyo@bg.wakwak.com](mailto:dosuikyo@bg.wakwak.com)

○ 件名「県大会参加希望」としてください。

○ 次のことを記載してください。(いただいた情報は、大会以外には使用いたしません。)

①氏名 ②所属(または市町村) ③電話番号 ④メールアドレス

(FAX・郵送でも受け付けます。①氏名 ②所属(または市町村) ③電話番号を記載してください。)

(4) 県内の各団体・部署へは、申込用紙を添付しています。複数名参加の場合は、とりまとめて申し込んでください。(申込用紙の様式に従わなくても結構です。)

(5) 参加資料代は当日、受付で納入し、『大会要項』等の資料を受け取ってください。事前に請求書が必要な場合や、銀行振込を希望される場合は、その旨を申し込みの際にお知らせください。

(6) 要約筆記・手話通訳を希望される場合は、8月18日までにメールにてお知らせください。

(7) 緊急時は、メールまたは電話でお知らせします。

## 15 その他

・ 総合教育センターの食堂は使えません。昼食の斡旋はいたしません。各自でご用意ください。

## <講師プロフィール>

### ☆河原 千春(かわはら ちはる)さん



横浜市出身。国際基督教大学教養学部卒業後の2007年、信濃毎日新聞社入社。飯田支社、長野本社報道部を経て、文化部に異動した13年「くらし面」の取材でもろさわようこさんと出会う。文化部では主に芸能を担当。23年4月から1年余り休職してお茶の水女子大学大学院博士前期課程(人間文化創成学科ジェンダー社会科学専攻)進学し、24年5月に復職(2026年修了見込)。(公財)日本女性学習財団キャリア支援デザイナー。(一社)アウェア認定デートDV防止プログラム・ファシリテーター(実施者)。法政大学沖縄文化研究所奨励研究員。

#### ■主な著書・論文

(共著)『認知症と長寿社会——笑顔のままで』講談社現代新書、2010年(日本新聞協会賞、JCJ賞、ファイザー医学記事賞大賞、日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞特別賞)

(編著)『志縁のおんな——もろさわようこわたしたち』一葉社、2021年

(編集・解説)もろさわようこ著『新編 おんなの戦後史』ちくま文庫、2021年

(共編)『沖縄ともろさわようこ——女性解放の原点を求めて』不二出版、2023年

(分担執筆・年表作成)三木健著『沖縄・八重山五十年史』不二出版、2024年

#### ■主な信濃毎日新聞連載記事

「からだは言葉——舞踏家・山田せつ子の表現」文化面 2019年11月

「行き着くところまで行ってみる——米田佐代子が語る人生とらいてう」くらし面 2021年9~12月

「風に描く——串田和美と演劇」芸能面 2022年9月~2023年3月

「劇場をひらく——木ノ下裕一と旅する古典」芸能面 2024年9月~11月

「ともにあたらしく ジェンダー 地域から」総合面・社会面 2025年1~6月



### ☆土田 光子(つちだ みつこ)さん



1977年より35年間、大阪府において中学校国語科教諭として勤務。

「子どもたちが教室で見せる姿の背景には一人ひとりが抱える暮らしがある」という原則を大切に、生活丸ごとでつながる集団づくりに取り組み続けてきた。

2012年より9年間、大阪教育大学非常勤講師。

2021年より、大阪多様性教育ネットワーク共同代表、現在に至る。

#### ■著書(含共著)

『わたしを創ったもの』(明治図書)『子どもを見る眼』(解放出版社)

『担任・教室のお悩み解消——なんでも相談12ヶ月——』(解放出版社)

『多様性の学級づくり』(解放出版社)『格差をこえる学校づくり』(大阪大学出版会)

『暴露と曲解部落ってどこ?』(部落解放・人権研究所) など多数

長野県同和教育推進協議会事務局 事務局長 網千直人

TEL(026)219-6634 FAX(026)219-6742

E-mail: [dosuikyo@bg.wakwak.com](mailto:dosuikyo@bg.wakwak.com)